

明日へ生かそう!

地図が伝える水害体験

— 平成16年10月台風23号 —

6月から10月は大雨の降りやすい時期です。

“洪水への備え” できていますか？

平成16年浸水実績図
(円山川下流域版)



被害を最小限にするためには日頃からの

浸水への心構えが大切です

避難場所、避難経路を確認しましょう。



緊急のために持ち出し品を用意しておきましょう。



台風や大雨のときは気象情報、河川情報に注意しましょう。



家具類、貴重品、水につかると困るものは、高いところへ



流出すると危険なものは2階など高いところへ



防災情報

現在の雨量や河川水位の情報をインターネット等で閲覧できます。

国土交通省 (川の防災情報)

パソコンからは <http://www.river.go.jp/>

携帯からは <http://i.river.go.jp/>

豊岡河川国道事務所

(円山川の雨量や水位、国道9号の雨量や雪、気象注意報・警報などの情報)

※防災情報は、メールによる配信も行っています。

携帯から <http://maruyamar9-bosai.go.jp/>
(iモード・vodafone・ez-web対応です)

電話から 0796-22-8200

『もしもの災害に備えてリアルタイムに防災情報を発信しています。』



浸水実績図や川に関することの問い合わせは…

国土交通省 近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所

〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町10-3 TEL 0796-22-3126(代表)

URL : <http://www.kkr.mlit.go.jp/toyooka/index.html> E-mail : otayori-toyooka@kkr.mlit.go.jp

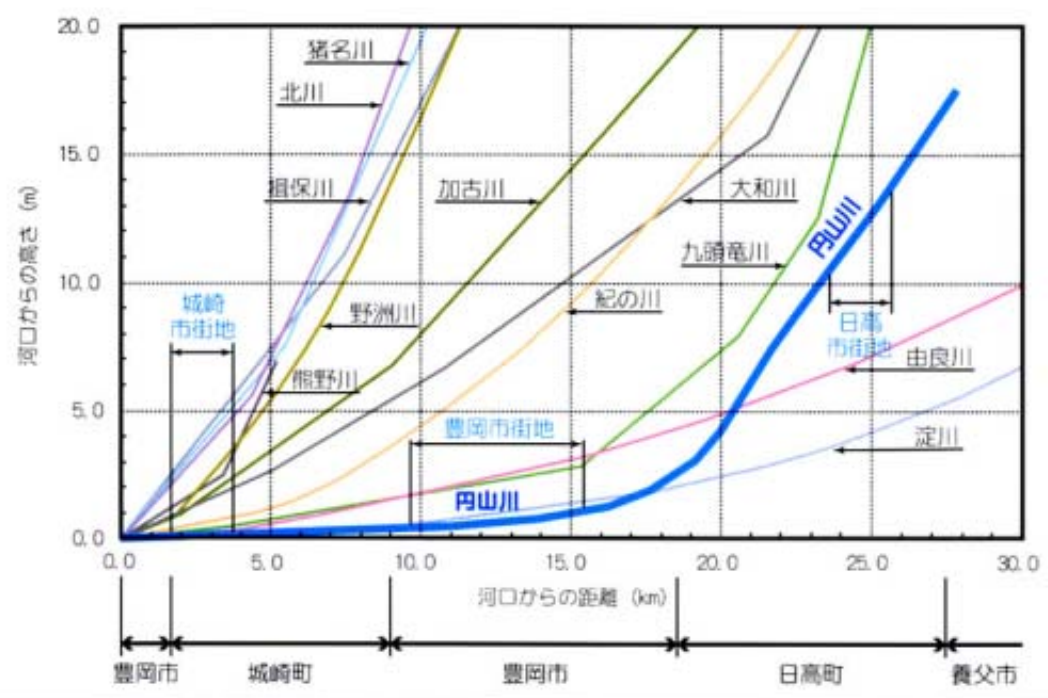
円山川水系のあらまし

円山川は、その源が兵庫県朝来郡生野町円山にあり、大屋川、八木川、稲葉川、出石川、奈佐川等の97の支川と合流しながら但馬の中央部を北へ向かって流れ、日本海に流入している一級河川です。円山川の幹川流路延長は約68kmで、円山川水系の川の総延長は502.7kmです。流域面積は1,300km²と、兵庫県全面積の16%を占めており、そのうち平地14%、山地86%となっています。



Look!
13

円山川の勾配は養父市・日高町等の上流側が急であり、豊岡市・城崎町の下流側は緩やかであります。そのため、勾配の緩やかな下流側では川の流れが遅くなるといった特徴があります。



円山川の主な洪水

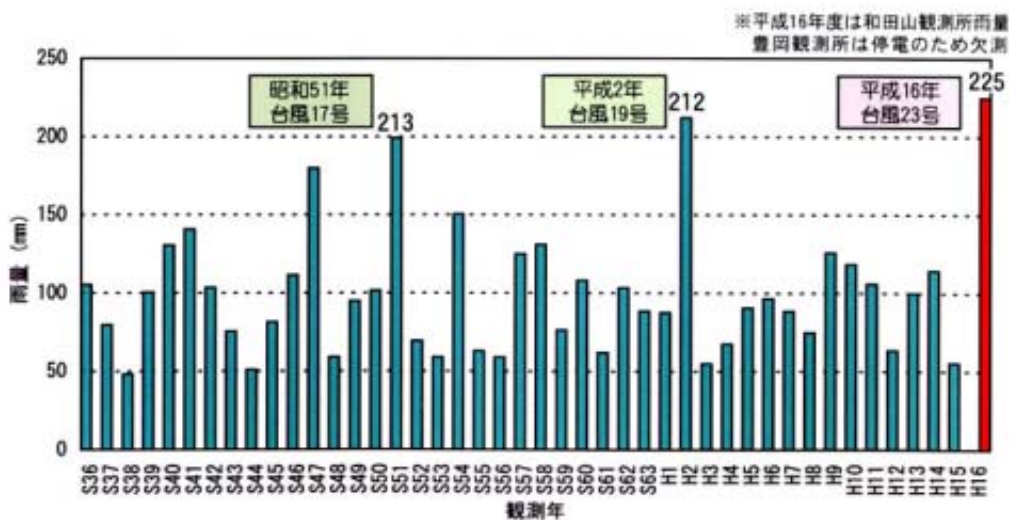
洪水年月日	洪水要因	総雨量	最高水位	浸水戸数
昭和34年 9月26日	伊勢湾台風	240 mm	7.42 m	16,833 戸
昭和36年 9月15日	第二室戸台風	187	6.87	1,933
昭和40年 9月10日	台風 23 号	145	6.86	7,788
昭和51年 9月10日	台風 17 号	542	6.92	3,022
昭和54年10月18日	台風 20 号	216	6.74	1,016
平成 2年 9月20日	秋雨前線・台風19号	466	7.13	2,508
平成16年10月20日	台風 23 号	282	8.29	7,944

(総雨量は八鹿雨量観測所 最高水位は立野水位観測所)

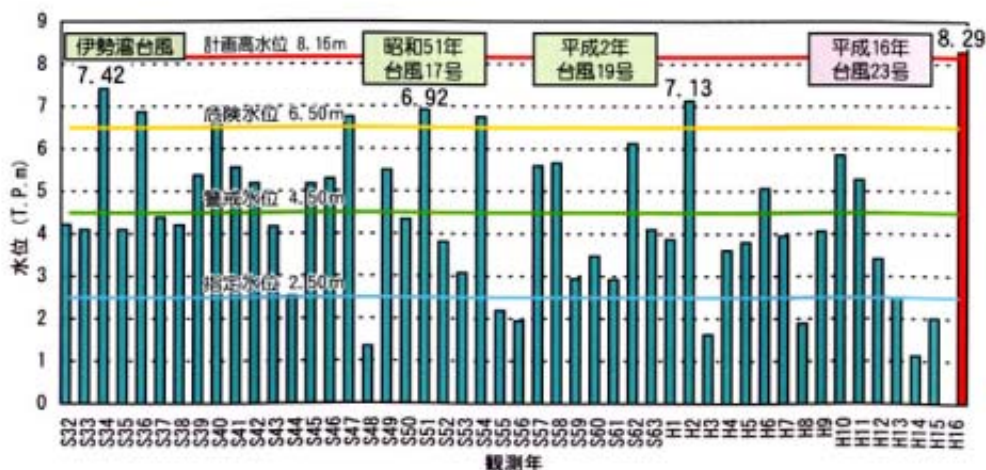


平成 16 年台風 23 号では、観測開始以降で最高の雨量と水位を記録しました

年最大日雨量
(豊岡観測所 (気象庁))

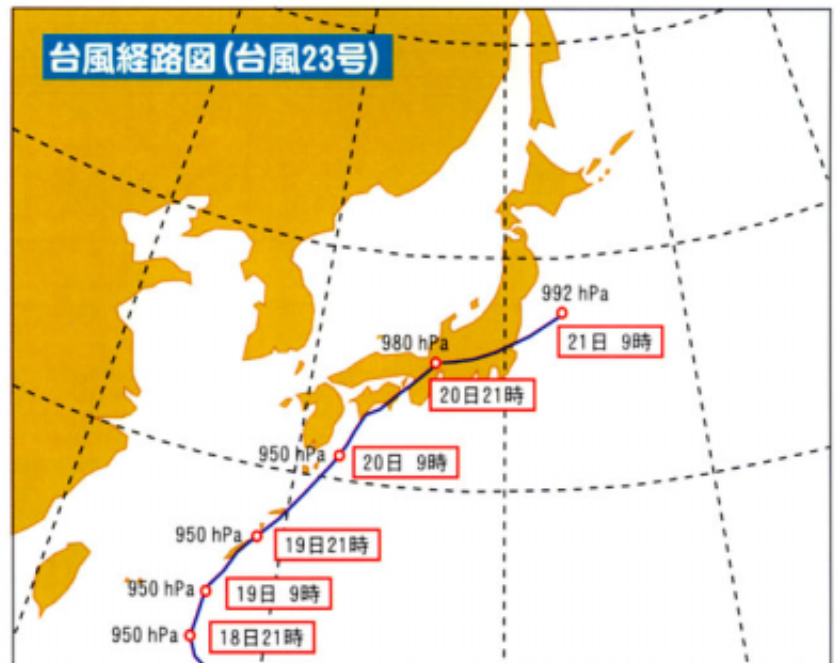


年最大水位
(立野観測所)



台風 23 号

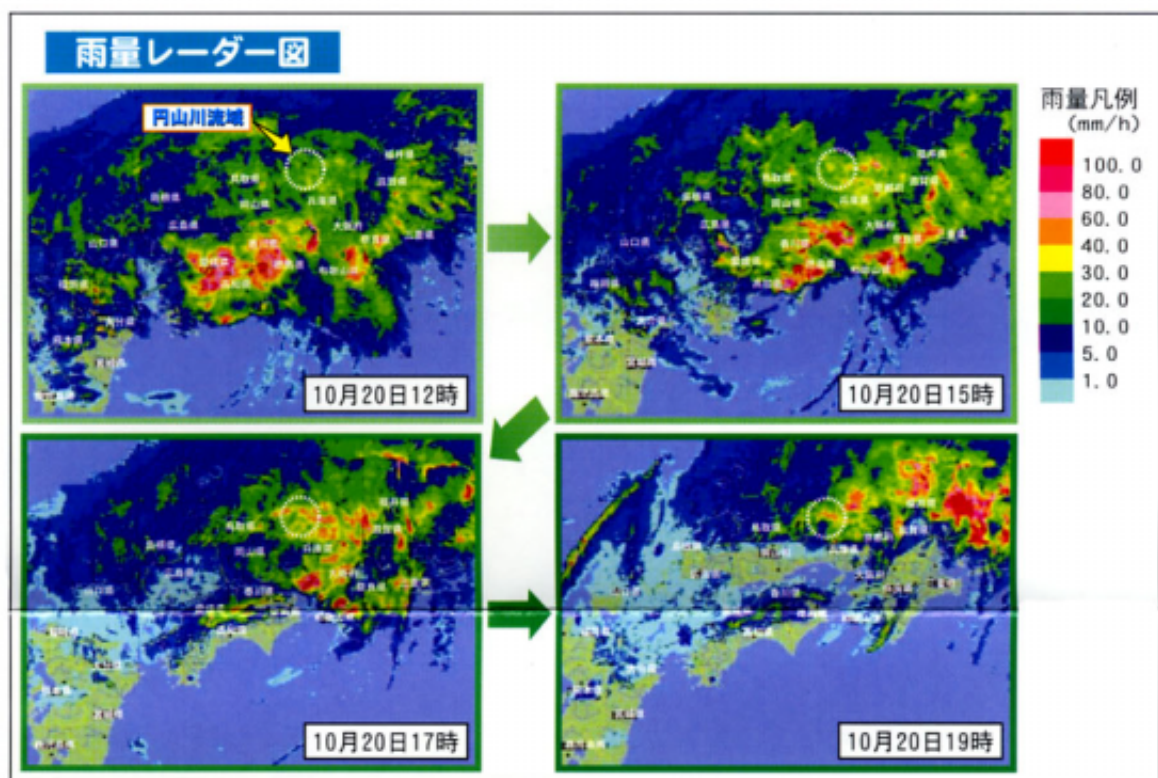
平成16年10月13日9時にマリアナ諸島近海で発生した台風23号は、18日9時に超大型で強い勢力となって沖縄の南海上を北上しました。19日には沖縄本島から奄美諸島沿いに進み、20日13時頃、大型の強い勢力で高知県土佐清水付近に上陸した後、20日18時前大阪府泉佐野市付近に再上陸しました。その後、東日本を横断して21日9時に関東の東海上で温帯低気圧になりました。



雨量レーダーによる降雨状況

雨量レーダー図は、10月20日12時～19時までに近畿地方周辺において台風23号が接近したときの雨の様子(強さ)を示したものです。

そして円山川流域では、20～40mm/hr程度の降雨が長時間降り続けました。

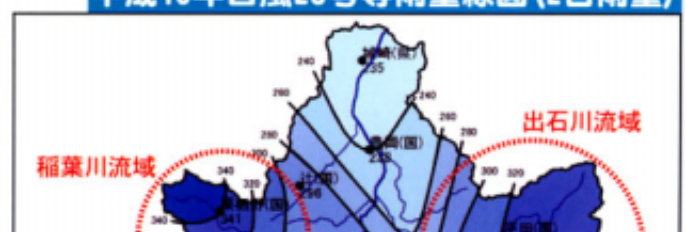


円山川流域の等雨量線図

等雨量線図は、台風23号のときの円山川流域各地域で降った雨(2日間の雨量)の分布状況を示したものです。

円山川流域では、230～340mmの雨が降っており

平成16年台風23号等雨量線図(2日雨量)

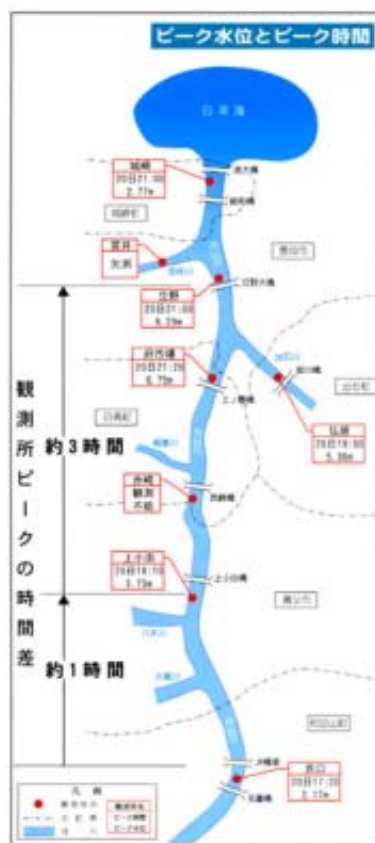


**集中豪雨によって
短時間に急激な増水となりました**

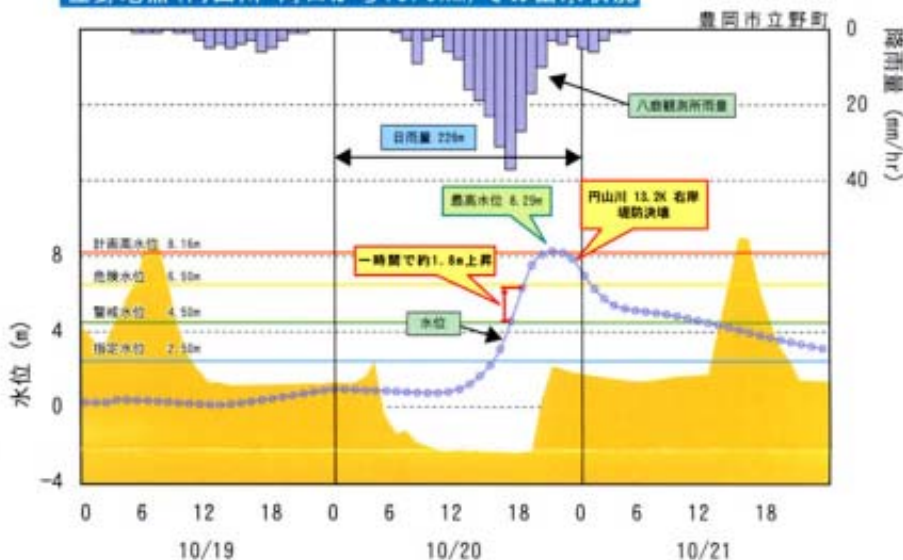
円山流域では、前線の影響で19日4時頃から降り始めた雨が一時治まったものの、再び台風の接近に伴い20日明け方より降り始め、昼頃になると流域全体で時間雨量20～40mm程度のまとまった降雨となりました。

これらの降雨により、円山川・出石川などの河川水位も20日昼過ぎより徐々に増え出し、台風が最も接近した20日18時から21時の間で河川水位がピーク（最高水位）に達しました。また、円山川、出石川等の国土交通省の管理区間においても**25箇所の越水**、ピーク後の23時過ぎには、**円山川、出石川のそれぞれ1箇所**で破壊するという甚大な被害が発生しました。

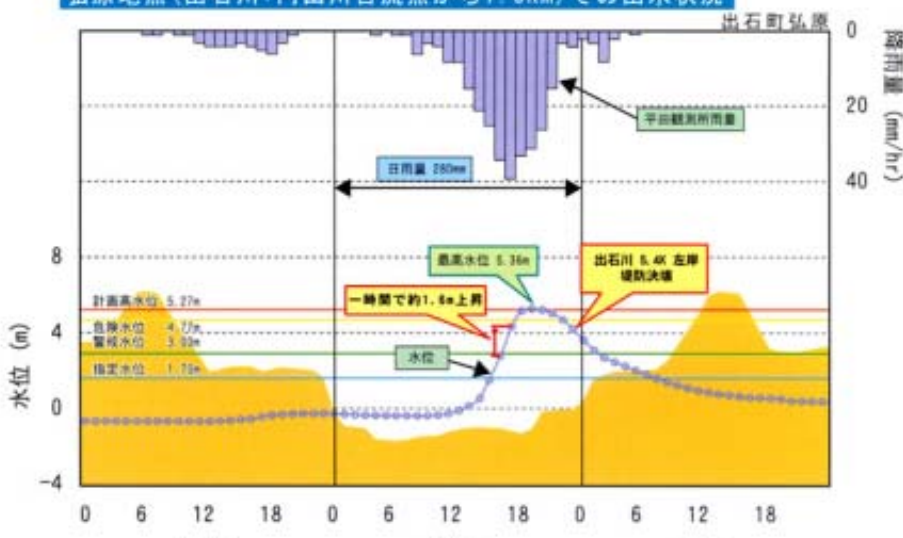
さらに、この出水の特徴としては集中的な豪雨によって短時間に急激な水位上昇がみられました。



立野地点(円山川:河口から13.0km)での出水状況



弘原地点(出石川:円山川合流点から7.6km)での出水状況



浸水実績図について

浸水実績図とは？

浸水実績図は円山川流域のうち国土交通省が管理している河川区間に関係する円山川下流域を対象として、平成16年10月20日に来襲した台風23号により浸水被害を受けた地域の輪囲及び浸水深のランクを地図上に表したものです。

Look
Eye

浸水実績図は次の点に注意してください！

浸水実績図は、平成16年10月20日台風23号により浸水した地域についてまとめたものであるため、今後の洪水が発生したときには、**雨の降り方、河川の整備状況、土地形状の変化などによってかわることがあります。**

流域の皆様には、浸水した地域を知っていただくことにより、日頃からの浸水対策、緊急時の水防活動や避難活動などに役立てていただくようお願いいたします。

浸水深のランクは、0.5m未満、0.5m～1.0m、1.0m～2.0m、2.0m～5.0m、5.0m以上の5ランクで表示しています。なお、浸水範囲、浸水深のランクは浸水後の調査結果をもとに作成しているため、実態と異なる箇所が生じている場合がございます。

